



### グリーンクラブだより 2014 vol.3

グリーンクラブのみなさん、こんにちは。いつも街角の花壇できれいなお花を育ててくださいましてありがとうございます。じめじめと蒸し暑い梅雨どきは、花の手入れがしにくい時期ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

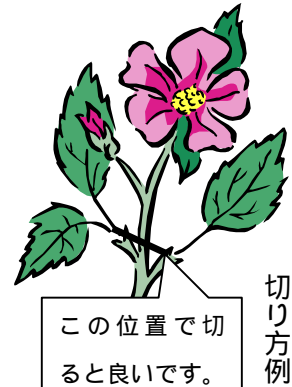
大型台風や集中豪雨など天候はまだまだ不安定ですが、梅雨が明ければ真夏日を記録するような暑い日々が続く事となりそうです。花壇の手入れの際は帽子をかぶりこまめな水分補給を行なう等、体調管理をしっかりと熱中症対策を講じてください。

今回は夏の花壇の基本的な手入れについてポイントをお話します。

#### 花がら摘み

咲き終わった花や枯れてしまった花は、花壇の外観の維持や花の病気の発生を防ぐ為に「花がら摘み」を行いましょう。

- ・花がら摘みのタイミング・・・花の色が薄くなってきたり花の先端が丸まってきた頃がひとつの目安です。花がら摘みを行なう際は花の状態にも注意してください。
- ・どこを切れば良い？・・・花茎の付け根で切ってください。花が咲いている茎をたどって行って、茎と葉が枝分かれている所の少し上です。茎を残しすぎるとそこから腐って病気になってしまったりするので注意してください。



この位置で切ると良いです。

切り方例

#### 切り戻し

暑い夏を越して、秋まで花を美しくきれいに保つために「切り戻し」という作業をしましょう。

- ・切り戻しとは・・・伸びすぎて生育が悪くなったり風通しが悪くなった株を、短く切って風通しを良くすることで、新しい芽を育て花を沢山咲かせる作業のことです。
- ・この作業を7～8月にする事で秋まで花を楽しめます。特にペチュニアやインパチェンスやマリーゴールドは切り戻しを行なってください。花がら摘みとやり方は同じですが、風通しを良くするのが目的なので短めに切ってください。

#### かんすい 灌水（水やり）

花を育てる上で重要になるのが、「灌水<sup>かんすい</sup>」すなわち水やりです。園芸の言葉に「水やり3年」とい



う言葉があるほど、植物にとって水は重要なものです。  
・水やりのタイミング・・・基本は土の表面が乾いておりその少し下を軽く掘ってみても乾いているようであれば、水やりのサインと考えて良いでしょう。

・水やりの時間帯・・・朝方・夕方のどちらかが基本ですが、植物の活動が活発になるのはお昼なので、できれば朝方に水やりをするのが理想的です。また、日中の水やりは太陽の熱で根が煮えて花が駄目になる場合があるので緊急時以外はしないようにしましょう。どうしても必要であれば日陰を作る等の熱対策を行なってください。

みなさんがご近所で花を育ててくださることで街全体の美化が広がっていきます。今後ともご協力をお願い申し上げます。

ご意見・お問合せはお気軽にどうぞ  
目黒区みどりと公園課利用係

Tel. 03 5722 9242

Fax. 03 3792 2112

